

金武町議会報



きんこく

第139号

発行：平成26年12月12日

均 霈



○懐かしい風景シリーズ

旧庁舎時代の議会風景（昭和50年はじめ頃）

主な内容

一般質問	2～11P
大城 政光 / 安富 信武 / 池原 政文 / 外間 慎仁 / 伊芸 孝 吉野 潤 / 嘉数 義光 / 大城 一之 / 仲間 政治 / 崎浜 秀幸	
平成26年第4回定例会議決結果	12～13P
平成26年第5回臨時会議決結果	13P
その他・傍聴案内	14P

金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp>

平成26年第4回 定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



大城 政光 議員

農業振興

農業革新を進めることで、耕作放棄地は少なくなると思うが

長 農家の意向を踏まえ、町 取り組む

大城議員

パイン地区は、付加価値の高いスナックパインの苗を求めているが、取り寄せることが難しい。対策について伺う。 仲間一町長 パイン苗の確保については、県における

ボゴール種の増殖配布事業の対象からはずれているため、町ではパインアップル共同育苗施設を設置し、金武町パイン生産部会において苗の増殖、配付に取り組んでいる。また、町農業アドバイザーを介して、他市町村の生産者に依頼し、町内生産者の苗購入の斡旋や農家個々における苗増殖に取り組めるよう、技術指導も行っている。

大城議員

マンゴーのような収益性の高い作物への耕作変更指導を含め、ハイテックハウス等の導入を町が中心となり技術指導し、農業革新を進めることで、耕作放棄地は少なくなると思うが。

町長 施設園芸などの導入

入については、収益性の高い作物の栽培を促進するため、これまでマンゴーや観葉植物等に係る施設導入を図ってきた。今後も、農家の意向を踏まえ、園芸施設の導入を促進し、収益性の高い農業の推進と耕作放棄地の解消とあわせて取り組む。

畜産振興

鶏舎・豚舎のウインドレス化の進捗状況は

町長 事務手続きや住民コンセンサスが整わず 沖縄食肉価格安定等 特別対策事業の活用を断念している

大城議員

養豚の汚水処理について、現状では厳しいものがある。水肥処理も含め、民間へ委託するべきと思うが、考えはないか。 町長 畜舎の糞尿処理については、本来畜産農家自

ら行うものとなっている。町では、畜産農家の所得向上、経費削減、耕畜連携による農業振興を目的に、家畜ふん尿処理施設の使用とバキュームカーによる回収、水肥の耕種農家への還元により対応している。当該事業に関する4トンバキュームカー1台あたりの農家負担額は500円で、民間の価格と比較すると安い価格となっている。民間委託については、農家負担額や養豚農家の意向、所期の目的等を勘案すると厳しい。

制約もあることから、当初の用途等の変更をすることは厳しいと考えている。

大城議員

悪臭対策で、鶏舎や豚舎のウインドレス化を進めるべきと思うが、平成25年9月定例会の答弁で「住民のコンセンサスを得て行う」という回答があったが、進捗状況を伺う。

町長

豚舎のウインドレス化については、事業主体となる関係農家において、沖縄食肉価格安定等特別対策事業の実施を目指していたが、平成27年度までの事業導入に係る事務手続きや住民コンセンサスを得る作業が整わず、当該事業の活用を断念している。今後、豚舎や鶏舎の整備に向けて事業主体となる関係農家と連携を図りながら、高率補助の事業メニューの模索をはじめ、諸手続きに係る支援を行い、事業導入を促進する。

町長

屋嘉畜産団地について、用途変更等をする場合、事業主体である屋嘉畜産組合の総意により検討することが前提である。さらに、国・県の補助事業上の

学力向上対策



安富信武 議員

全国学力・学習状況調査の金武町の分析報告を求め

各学校で詳細な分析を行い、学力向上へつなげる

安富議員 2014年度全国学力・学習状況調査の結果が8月26日の新聞にて報道され、今回、小学校の正答率が大幅に躍進したことが取り上げられ、話題になっている。金武町の小学校について、状況はどのような結果になっているか。

比嘉貴一教育長 町内における小学校の平均正答率に

2014年度全国学力・学習状況調査平均正答率

	国語A	国語B	算数A	算数B
小学校	64.9%	45.4%	74.3%	48.7%
	国語A	国語B	算数A	算数B
中学校	61.5%	32.7%	36.2%	22.1%

については、国語A問題が64・9%、国語B問題が45・4%、算数A問題が74・3%、算数B問題が48・7%となっている。国の平均正答率を100として、町内小学校の平均正答率を昨年と比較した場合、全科目が上回っている。

安富議員 中学校について、どのような結果になっているか。

教育長 中学校の平均正答率については、国語A問題が61・5%、国語B問題が

考えている。

委員会の設立

役場新庁舎建設移転調査委員会を立ち上げては

町長 中長期的展望に立ち、今後、検討する

安富議員 當山記念館の活用に関する検討委員会が立ち上げられたと聞いている。

仲間一町長 當山記念館の活用に関する検討委員会には、保存、維持管理、活用方法の検討を諮問しており、これまでに3回の会議を開催している。今後は、年内に活用方法等に関する検討結果を取りまとめ、答申を受ける予定となっている。

安富議員 任期はあるのか。

上原浩総務課長 任期は、2カ年となっている。

安富議員 その組織の業務内容について、記念館の修

復・復元、その後の活用についてが主題と思うが、銅像や周辺の修復、雄飛の森公園としての整備提案もこの委員会の業務に含まれているか。

総務課長 当検討委員会は、當山記念館の活用が目的である。

町長 周辺整備については、今後、答申を受けた後、あるいは町には文化財保護審議会というものがあり、そことの協議の中で議論が出てくるだろうと思っている。

安富議員 役場新庁舎建設移転調査委員会(仮称)を立ち上げる考えはないか。

町長 新庁舎の建設に関しては、建設場所、規模、財源、町民意見等を踏まえ、中長期的展望に立ち、今後、検討する。



移動図書館

移動図書館を

導入する考えは

教育長

各地区公民館、町内各団体等への貸し出し、宅配サービスなどを実施している

池原議員

町立図書館から遠距離にある町民に対し、利用者の拡大と読書の普及を図るため、移動図書館を導入する考えはないか。

比嘉貴一教育長

現在、遠距離にある町民に対して、町立図書館から各公民館へ貸し出しサービスを実施しており、各地区公民館で本を借りることが可能となっ

ている。また、町内各団体への貸し出しや来館することが困難な町民に対しての宅配サービスも実施している。さらに、町立図書館のネットワークを活用した県および各市町村立図書館の検索や貸し出しを実施している。

池原議員

前年度の行政区ごとの利用者、入館人数を示していただきたい。

教育長

町立図書館の各区ごとの利用者入館人数は把握していないが、平成25年度における本の貸し出し人数は、中川区900人、並里区3615人、金武区7412人、伊芸区994人、屋嘉区1038人となっている。

池原議員

以前、単年度であったが、町立図書館が移動サービスを行い、本を貸し出していたが、導入する考えはないか。

教育長

移動図書館の場合、

本を選ぶという楽しさはあるかと思うが、実際に移動図書館に積める本の数は限られ、地域にいる時間帯も1時間とか限られる。それよりは、検索システムを整え、地域にいながら各区、各小学校、各学童保育まで届けるという、その辺のことを周知し、区民の方がよりに本に親しめるような環境をつくるということを努力している。

非正規職員の待遇改善

前向きに検討されたのか

報酬を月額制に移行し、今後も安心して働ける環境整備に努める

池原議員

町役場非正規職員の待遇改善を図り、安心して働ける職場の環境づくりに努めていきたいと表明しているが、ほかの市町村の動向などを調査し、前向

きに検討されたのか伺う。

仲間一町長

昨年10月に保育士の報酬を月額報酬に変更し、休暇の面では病気休暇を付与しており、また、本年4月より、他の嘱託員についても月額制に移行しており、その結果、近隣町村との待遇と同等になっている。今後も引き続き非正規職員の方々に安心して働いてもらえる職場環境の整備に努める。

海浜公園施設の有効活用

監視人を雇えば、ビーチの活性化につながると思うが

海水浴場ではないため、利用者の自己責任となっている

池原議員

伊芸海浜公園は地元行政区を指定し、管理業務を行わせている状況だが、施設は町民に有効に活用されているのか伺う。

町長

伊芸海浜公園については、伊芸区が指定管理者として維持管理を行っており、利用等については、町内外からの家族連れや各団体、またイベント等で活用されている。

池原議員

白浜の人口ビーチが整備されており、利用価値が高いと思われる。監視人等を雇えば、利用者が安心して、ビーチの活性化につながると思うが、いかがお考えか。

町長

金武湾海岸保全区域については、沖縄県水難事故の防止および遊泳者等の安全の確保等に関する条例に基づく海水浴場ではないため、施設における不慮の事故や、自己の責めに起因する事故等は、全て利用者の自己責任となっている。



外間 慎 仁 議員

農業振興

新品種の取り組み、課題は

町長 優良品種の確保や支援に努める

外間議員

特産品のブランド化戦略とピールの取り組み、課題について伺う。仲間一町長 特産品のブランド化については、その基盤となる品質の向上や安定供給体制を促進するため、生産規模の確保の支援共同選別および共同出荷体制づくり等の支援を行っている。今後、ブランド化を図るためには、農林水産物の一定の生産量や品質基準等を確

保する必要がある。

外間議員

農家への支援体制についての取り組み、課題について伺う。

町長

本町の農家支援の取り組みについては、肥料、農薬、生産機具、出荷箱、植え付け奨励、畜種購入、子牛生産奨励、先進地研修等の補助をはじめ、農業アドバイザーを活用した技術指導、認定農業者および新規就農者への経営指導、各種農業団体への補助などを行っている。今後も、引き続き生産基盤の整備や各種支援を行うとともに、特産品直売所と一体的な道の駅の整備や六次産業化を推進することが必要である。

外間議員

新品種の取り組み、課題について伺う。

町長

優良品種の普及については、農業生産力や収益性の向上につながることから、主な作物の奨励品種等の普及に取り組んでいる。

今後も引き続き、優良品種の確保や支援に努める。

公園管理と
遊具設置のあり方

公園の管理は

20カ所の公園が整備されており、町が4カ所、各区が16カ所管理を行っている。

外間議員

本町における公園管理および遊具の設置のあり方について伺う。

町長

現在、町内には20カ所の公園が整備されており、町で管理している公園が4カ所、残りの16カ所の公園については、各区が指定管理者として維持管理等を行っている。また、遊具が設置されている公園については、7カ所となっている。

外間議員

伊芸海浜公園でバーベキューをしたいというところで行ったら、区のほうがやらってはダメと指導

があったらしい。町民の声として、バーベキューをそこでしたいとあるが、検討してみてもいいかというところがある。そういったことを含め、今後検討していきたい。

宝正徳建設課長

管理人を置いていないということがあり、そういった状態でやるとビーチは汚れ、ゴミが散乱するのではないかと。そういったことを含め、今後検討していきたい。

金武ダムを活用した
まちづくり

金武ダムを活用した
まちづくりビジョンは

金武ダム水源地域ビジョンを策定、推進協議会を立ち上げ取り組み

外間議員

今年2月に下旬に竣工した金武ダムを活用したまちづくりビジョンについて伺う。

町長

金武ダムを活用したまちづくりを推進するため、北部ダム事務所と金武

町、沖繩県、町内各種団体等が参加し、金武ダム水源地域ビジョンを策定した。同ビジョンでは、ダム湖面や一周道路、多目的ホール

の活用、イベントの開催、花いっぱい活動への取り組みなど、21の活動メニューが提案されている。今後は、

北部ダム統合管理事務所と、町内各種団体等で構成する

金武ダム水源地域ビジョン推進協議会を立ち上げ、連携しながら同ビジョンで策定した活動メニューが実現

できるよう取り組む。

外間議員

今年度、活用について話し合われるということか。

宮里安秀企画課長

昨年は、金武ダム水源地域ビジョンの策定をし、今回、それを実行するために推進協議会を立ち上げ、進めていく。



ホテルの進捗状況は

町長 現在、造成工事に着手している

伊芸議員 ホテル等の計画の進捗状況について伺う。

仲間一町長 ホテル等の計画の進捗状況については、企業において森林法による保安林解除や、林地開発許可、都市計画法による開発許可を得ており、現在、造成工事に着手している。
伊芸議員 100年間貸すわけだが、それに伴う経済的効果を期待している。特に建築や従業員の採用など

を期待している。地元の建築業者が携われるように協議会のような団体をつくり、ホテルの建設主と協議する予定はないか。

伊芸達博副町長 町が直接企業とタッグを組み、そこに要請するということはできない。基本合意の中で地元優先ということをしており、その面については行政サイドで述べることができる。

伊芸議員 町が設営した4施設の営業状況について伺う。

町長 ギンバルに整備された4施設のうち、リハビリ関係3施設の4月から7月末までの利用状況としては、ヘルスケアセンターの整形外科・リハビリ部門の延べ利用者数が2657人、フィットネス部門の延べ利用者数が4003人、フィットニングセンターについては、来客者数が185人、

器具の出荷数が825本となっている。また、海洋療法児童リハビリセンターについては、延べ利用者数が190人となっている。地域医療施設については、医療法人ほくと会の業務および会計の改善指導に対する県への回答が適正と判断されておらず、開業に向けた手続きが進まないことから、現在開業していない。

町の生活環境

ひとり暮らし高齢者への安全パトロール等は、実施しているか

町長 包括支援センターにおいて、自宅訪問を実施している

伊芸議員 生活保護者が比較的に多いと言われているが、現況はどうか。

町長 平成26年3月31日現在の、本町における生活保護率は、中部町村圏域の

生活保護率の平均値の約2倍となっている。平成26年7月末現在における本町の生活保護世帯数および人数については261世帯、356人となっている。

伊芸議員 中部町村圏域での実数は把握しているか。

仲田博保健福祉課長 平成26年7月現在、恩納村で97世帯121人、宜野座村48世帯72人、金武町261世帯356人、読谷村347世帯501人、嘉手納町280世帯422人、北谷町288世帯419人、北中城村154世帯226人、中城村125世帯154人となっている。

伊芸議員 生活保護費は、町村も負担しているのか。

保健福祉課長 福祉事務所の設置主体は、沖縄県と市が設置となっており、中部圏域3町5村が県のほうで事務を行っている。その費用にかかるものは全部県負担となっている。

担となっている。
伊芸議員 高齢者のひとり暮らしの安全パトロール的な活動を実施しているか。
町長 町では、65世帯以上の独居世帯を対象に包括支援センターにおいて、実態把握のための自宅訪問を実施している。

中部町村圏域 生活保護世帯数および人数

	世帯数	人数		世帯数	人数
恩納村	97	121	嘉手納町	280	422
宜野座村	48	72	北谷町	288	419
金武町	261	356	北中城村	154	226
読谷村	347	501	中城村	125	154

平成26年7月現在



台風8号による被害
状況と事後対策

復旧作業の対応は

町長 台風通過後、職員でパトロールし、建設業者会と協力して対応している。

吉野議員 町内の家屋、公共施設等の被害状況について伺う。

仲間一町長 町が把握している家屋の被害については、一部破損が4件となっており、公共施設等の被害については、空調機器の故障が3件、窓ガラスの破損が1件、カーブミラーの破損が7件となっている。

吉野議員 農作物の被害状況について伺う。

町長 農作物の被害については、水稲、田芋などへの風水害、マンゴーの落下等があり、1100万円の被害となっている。

吉野議員 農業施設、農道等の被害状況について伺う。

町長 農業施設の被害については、園芸施設の破損が2件、土地改良区内のり面崩壊が13件、農道損壊が2件、排水路の損壊が6件となっている。

吉野議員 被害による今日までの復旧作業の対応について伺う。

町長 公共施設等の修復については、空調機器の故障と窓ガラス破損はすでに修復済みである。カーブミラーの破損については、今月中に修復を完了する予定である。また、災害復旧作業については、台風通過後職員で町内パトロールを実

施し、道路を封鎖している倒木や、土砂等の除去を災害時応援協定に基づき、建設業者会と協力して対応している。破損損壊箇所の補修、復旧については担当課において対応している。

社会教育行政

感育の行政指導は

教育長 青少年劇場小公演や家庭教育講座などの各種体験事業を実施している。

吉野議員 知・徳・体・食育にあわせて、感育の行政指導について伺う。

比嘉貴一教育長 知・徳・体・食育については、国頭教育フロンティアプランに基づき、本町において金武町雄飛プランを作成し、各学校においては教育計画を作成して取り組んでいる。感育については、子ども達の様々な感動や共感を通じ、

豊かな人間性を育むことを目指し、青少年劇場小公演や家庭教育講座などの各種体験事業を実施している。

吉野議員 わが町の自然を生かした自然学級、自然教育の実績と、今後の教育方針について伺う。

教育長 本町の自然を生かした体験学習等の事業実績としては、サバニ体験学習や親子参加型による自然探検、公民館事業におけるイノー体験や星空観察などをこれまでに実施している。今後も、子ども達を取り巻く環境の変化に目を向けながら、郷土の自然を生かした児童生徒の健全育成に取り組む。

※ 感育
文化や自然体験などを通じ、感動・感謝・感性などの心を育むという考え

金武町民俗資料館の建設

当山記念館の取り扱い

町長 当山記念館の活用に関する検討委員会において、検討を重ねている。

吉野議員 金武町民俗資料館建設に伴う当山記念館の取り扱いについて伺う。

町長 本町では、資料館構想を地域文化の振興における文化財の保全、活用施策に位置づけ、移民や民族を基本的な柱に、歴史・自然・産業などを総合的に学べる教育施設、歴史文化の調査研究および保護活用を推進していくための拠点施設として資料館建設を目指す。当山記念館の扱いについては、当山記念館の活用に関する検討委員会において、現在検討を重ねているところである。

ふるさと応援基金



嘉数義光 議員

何人の方が

寄付しているか

町長 個人で述べ25人、企業および団体で述べ8件となっている

嘉数議員 ふるさと応援基金(寄付金)は、地方間格

差や過疎などによる税収の減収に悩む自治体に対しての格差是正を推進するための新構想として2008年第一次安倍政権のときに創設された制度だが、多くの自治体がこの制度を利用して村おこしに活用している。本町における寄付金の額、何人の方が寄付をしている

か何う。

仲間一町長 金武町のふるさと応援寄付のこれまでの

寄付金額の合計は、平成26年9月1日現在で、813万9134円です。寄付者は、個人で述べ25人、企業および団体で述べ8件となっている。

嘉数議員 その使い道についてのを考えを何う。

町長 寄付者から収受した寄付金については、保健・福祉費の充実、教育・文化の振興、生活環境基盤の整備、環境衛生・防災対策の推進、産業振興の5つの分野に活用することとなっている。

嘉数議員 制度の仕組みを利用して村おこしに活用しているか何う。

町長 制度の仕組みを利用したまちづくりについては、今後、分野別の寄付金額と事業量を鑑みながら、どのように事業に充当する

か検討していききたい。

体育施設の活用

町民主体の利用規定

になっているか

教育長

施設予約や使用料において町民が利用しやすいようになっている

嘉数議員 金武町ベースポールのスタジアムおよびサブグラウンド利用規定、そして陸上競技場フィールド部の

利用規定について何う。この施設の建設目的を何う。比嘉貴一教育長 金武町ベースポールのスタジアムは、町内の少年野球から社会人野球に至る幅広い層から練習場および試合場として活用できるよう整備している。陸上競技場フィールド部は、サッカー競技など町民が幅広く利用できるよう整備している。

嘉数議員 町民の利用状況

および町民主体の利用規定になっているか何う。

教育長 利用状況については、平成25年度実績で金武町ベースポールのスタジアム

の利用日数が170日、延べ利用者数は1万2241人。陸上競技場フィールド部は、利用日数が87日、延べ利用者数1万73人。町民主体の利用については、施設予約や使用料において町民が利用しやすいようになっている。

嘉数議員 維持管理人は何人いるか何う。

教育長 金武町陸上競技場、町立体育館、町営庭球場、町立武道館の5施設を7人の委託職員で管理している。

嘉数議員 来年度フットボール場が2面完成予定だが、町民が練習グラウンドとして利用できるか何う。

教育長 ほかの体育施設同様、町民が利用しやすい整備する。

金武町の地域医療施設

進捗状況は

町長 協定書第7条に基づき、今後の対応について顧問弁護士と相談している

嘉数議員 ギンバル跡地の地域医療施設が開業できない理由と、進捗状況について何う。

町長 医療法人はくと会の業務および会計の改善指導に対する県への回答が適正と判断されておらず、開業に向けた手続きが進まないことから現在、開業していない。医療施設の開業については、内閣府等から指摘を受けており、協定書第7条に基づき、今後の対応について顧問弁護士と相談しているところである。



デング熱感染

町の対策は

町長
蚊の発生源となる身の周りの水たまり等の除去や蚊に刺されないよう注意喚起を行う

大城議員

9月2日の新聞記事で国内10都道府県で36人となったデング熱感染者はウイルスを持った蚊に刺されたのが原因とされている。金武町の対策として、

デング熱の危険性と発生の現状把握について伺う。

仲間一町長

デング熱の危険性については、デング熱に対するワクチンは現在のところなく、対症療法しかない。発生状況については、

9月9日時点において、全国で88人が感染している。**大城議員** 媒介となる蚊の発生状況について伺う。

町長 媒介となる蚊は、日本ではヒトスジシマカで、北海道を除く国内各地に生息しているといわれている。

大城議員 沖縄県、金武町の対策について伺う。

町長 県の対応としては、各医療機関にデング熱と思われるものは、保健所へ通報するように通知している。町民への予防対策として、

蚊の発生源となる身の周りの水たまり等の除去や蚊に刺されないよう注意喚起を行う。

就学援助規則

就学援助規則目的は

教育長
経済的理由により就学困難と認められる児童または保護者に対して、必要な援助を行う

大城議員 就学援助規則について、その目的および現在の対象者と推移について伺う。

比嘉貴一教育長 就学援助は、学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学困難と認められる児童または生徒の保護者に対して、必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図ることを目的としている。対象者数の近年の推移としては、平成24年度は150人、平成25年度は127人、平成26年度は8月末で150人となっている。

大城議員 対象者の選定方法および認定と認定取り消しの手順について伺う。

教育長 認定と取消の手順については、全保護者に対し就学援助の申請について文書を配布し、その後、申請を受け付けた非課税世帯のほか、特別な事情等によ

金武町キャラクター

今後の活用は

町長
刊行物など町から発信する媒体に活用する

大城議員 金武チームくんの今後の活用法は。

町長 今後の活用法については、刊行物や送付する封筒、特産品の商品パッケージ等、本町から発信する媒体に活用する。また、着ぐるみについては、活用や管理の方法などの方針を定めなければならない。そのため、制作に向けて検討する。

大城議員 金武町にはキャラクターがいくつあるか。

宮里安秀企画課長 金武町には、金武チームくん、商工会の魔法使いチームくん、図書館にKINぶっくんがある。



北部メディカルクリニックの開設と指定管理

北部メディカルクリニックについてどう取り組むのか

町長 協定書に基づく措置を考えなければいけない時期にきている

仲間議員 北部メディカル

クリニックは、今年度の4月1日から開設予定であったが、9月にいたるまで開設されていない。相手方との覚書で第7条に抵触しているのは明白と思われるが、町長はさきの議会においていかような答弁をされたか。

仲間一町長 町は、医療法人はくと会に対し、協定内容を提示し、今年の4月30

日に地域医療施設の開業に向けた取り組み状況の報告を求めており、5月17日に回答をされている。その内容について県と調整を行ったが、医療法人はくと会の業務および会計の改善指導に対する県への回答が適正と判断されておらず、開業に向けた手続きが進まないことから、開業していない状況である。このような状況から協定書第7条に抵触するおそれがあると判断したため、協定書に基づいた措置や大きな決断をしなければならぬ時期に来ていると答弁している。

仲間議員 今日まで相手方

といかなる内容の交渉を行ったか、詳細な説明を求めます。

町長 町としては、開業

されていない状況から医療法人はくと会と平成26年6月17日に、地域医療施設開業に係る協議を行っている。

6月30日には、協定に基づいて診療健診業務等が開始できるような処置を講ずることを通告書にて催促している。7月23日に、協定書に基づいて開業に向けた協議を行っている。

仲間議員 今後の対処方法

として、いかような選択肢があるか、町長の所見を伺う。

町長 町は医療施設の開業について、内閣府等から指摘を受けているところで

あり、一日も早く開業するため協定書第7条に基づき大所高所から精査し、今後の対応について顧問弁護士等と相談しているところである。

仲間議員 同施設の管理に

ついて伺う。契約の相手、

契約の条件内容、契約の期間、契約金、契約の解除要件はどうなっているか。

町長 利用期間については、平成26年1月1日から平成36年3月31日までとなっ

ており、協定の変更または解除については不測の事態の発生により協定の目的を達成することが困難となつたと認めるときは協議の上、協定を変更し、または解除することができるとなっている。

当山記念館

当山記念館の活用に関する検討委員会の進捗は

会議を3回開催しており、年内に答申を受ける予定

町長 当山記念館について、記念館の保存活用に向けて委員会の立ち上げ、その進捗はどうなっているか。

仲間議員 委員会には、保存、維持管理、活用方法の検討を諮問しており、これまでに3回の会議を開催しており、今後は年内に活用方法等に関する検討結果を取り

まとめ、答申を受ける予定となっている。

個人情報の保護

システムは万全か

町長 職員は担当範囲外のシステムは使用することができないよう管理している

仲間議員 個人情報保護のためのシステムは万全か、漏れはないか伺う。

町長 町では、住民基本台帳や財務、会計等の各種システムを使用し業務を行っている。これらのシステムはインターネット回線とは分離されており、インターネットを介して外部からアクセスされることはない。

システムの使用については、業務ごとに担当者を決め、権限を付与しており、職員は担当範囲外のシステムは使用することができないよう管理している。

鳥獣被害



議員 崎浜 秀幸

町はどのような

対策をしているか

町長 猟友会等に駆除を依頼、委託している

崎浜議員 カラスやイノシシ

シなどによる被害が町内の農家の皆さんから聞かれる。町はどのような対策をしているのか伺う。

仲間一町長 町の鳥獣被害

金額については、平成25年度で約10万円となっており、イノシシの被害対策については、侵入防止用ネットの配布とあわせて銃やワナによる駆除を猟友会等に依頼して行っている。カラスの

被害対策については、猟友

会に駆除を委託するとともに、町独自で捕獲箱も設置している。

崎浜議員 鳥獣被害防止総合対策交付金を活用しているか伺う。

町長 鳥獣被害防止総合対策交付金については、沖縄本島北部地区野生鳥獣被害対策協議会を通じて北部地区一円でを行うカラスの一斉駆除において活用している。

安富祖勸産業振興課長 農家から被害届が出た場合、口頭で相談に乗り、文書で県のほうに、カラスの場合には銃による駆除をやるという手続きをとっている。あわせて、カラスの箱ワナを設置している。あと、漁場で使われなくなったネット等を集め、それを使ってもらうという対策を行っている。

崎浜議員 鳥獣被害防止特

措法により、具体的な措置として財政支援、権限移譲、人材確保を講ずることができると伺うが、その内容を伺う。

産業振興課長 被害が発生

したときの鳥獣の捕獲については、現在、金武町のほうでは県への手続きを行い実施している。他市町村では、迅速化するために被害防止計画に基づき協議会を設置し、その計画の中で権限移譲の部分も項目立てできるので、その計画に入れ、県と協議をし、同意を得れば、権限委譲できるという内容になっている。その交付金に基づきそれに従事する方々への財政的な支援もあるとなっている。



イノシシ食害の跡

崎浜議員 被害があったとき、町はどのように対応するか。

地域医療施設

どのような取り組み

をしているか

町長 協定書第7条に基づき、今後の対応について顧問弁護士と相談している

崎浜議員 開設の見通しと

して、どのような取り組みをしているか伺う。

町長 町は、医療法人ほ

くと会に対し協定内容を提示し、今年の4月30日に金武町地域医療施設の開業に向けた取り組み状況の報告を求めており、6月30日には協定に基づき、診療健診

業務等が開始できるような措置を講ずることを催促した。医療施設の開業については、内閣府等から指摘を受けており、一日も早く開業するため、協定書第7条に基づき、今後の対応について顧問弁護士と相談しているところである。

崎浜議員 ほくと会の今の

運営状況では、実現不可能だと思うが。

町長 行政は4月にオープンできるような状況に持っていたにもかかわらず、ほくと会の内部の問題でこれまでできていないということは、私も議員がおっしゃるような印象をうけている。

平成26年 第4回 定例会

第4回定例会が、9月9日～26日の日程で開催された。今定例会では、各会計の補正予算や、工事請負契約、平成24年4月1日施行の金武町町民税減税条例の廃止、平成22年に町立武道館にて発生した事件の損害賠償請求に関する和解および賠償額の決定などを審議した。

また、今定例会には、平成25年度の各会計・水道事業会計決算の認定が提出され、議長を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、全会一致で認定されたが、平成25年度金武町一般会計歳入歳出決算は附帯意見が付された。

一般質問には、10人の議員が登壇し、農・畜産業振興やギンバル訓練場跡地利用計画、観光、学力向上に関する質問が行われた。

議決結果は左記のとおりとなっている。

平成25年度 各会計の決算状況

一般会計

歳入	歳出	差引額
143億3,769万358円	137億3,733万3,347円	6億35万7,011円

有線放送電話事業特別会計

歳入	歳出	差引額
3,493万2,673円	3,223万5,875円	269万6,798円

国民健康保険事業特別会計

歳入	歳出	差引額
21億4,220万5,732円	20億1,805万8,650円	1億2,414万7,082円

後期高齢者医療特別会計

歳入	歳出	差引額
1億2,997万4,109円	1億2,943万8,332円	53万5,777円

金武町水道事業会計

水道事業収益	水道事業費用	資本的収入	資本的支出
3億412万3,309円	2億9,795万3,386円	2,542万3,093円	3,710万3,890円
資本的収入額に対し、資本的支出額に不足した額1,651万797円は、建設改良積立金で補填した。			

屋嘉地区簡易水道事業会計

水道事業収益	水道事業費用	資本的収入	資本的支出
3,225万8,908円	3,101万6,710円	3,599万714円	4,987万9,099円
資本的収入額に対し、資本的支出額に不足した額1,388万8,385円は建設改良積立金、損益勘定留保資金で補填した。			

認定第1号(平成25年度金武町一般会計歳入歳出決算の認定について)に対する附帯意見

医療法人ほくと会北部病院理事長と、前金武町長と交わされた協定書第3条における、平成26年4月に開業するという事は不可能になっている。協定で取り決めた事項を誠実に履行せず、今日に至っていることは、信義に欠ける。よって、町は速やかに協定書に従い、損失を最小限にとめるべきで、新たな方策を選択すべきである。

平成26年第4回金武町議会定例会附議案件処理結果

件 名	議決結果
平成26年度金武町一般会計補正予算(第2号)	可 決
金武町財政調整基金の処分について	可 決
平成26年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可 決
負担付き寄付の受け入れについて	可 決
金武町町民税減税条例を廃止する条例について	可 決
金武町税条例の一部を改正する条例について	可 決
損害賠償請求事件に関する和解及び損害賠償額の決定について	可 決
平成26年度金武町水道事業会計補正予算(第2号)	可 決
金武町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
工事請負契約締結について(金武町立中央公民館大ホール照明設備改修工事(照明器具))	可 決
工事請負契約締結について(並里・金武地区農業集落排水処理施設(外構工事))	可 決
工事請負契約締結について(美徳川橋梁整備工事)	可 決
工事請負契約締結についての議決内容の一部変更について(金武町フットボールセンター(仮称)整備事業建設工事(造成))	可 決
工事請負契約締結についての議決内容の一部変更について(町道金武243号線整備工事(橋梁上部))	可 決
平成25年度金武町一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
平成25年度金武町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
平成25年度金武町有線放送電話事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
平成25年度金武町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
平成25年度金武町水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定
平成25年度金武町屋嘉地区簡易水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定
金武町農業委員会委員の推薦について	推薦なし
平成27年度幼稚園就園奨励費補助金に関する陳情	委員会附託
議員派遣に関する決議	可 決

平成26年 第5回 臨時会

第5回臨時会が、10月28日に開催された。今臨時会は、平成26年度金武町一般会計補正予算(第3号)を審議し、賛成多数で可決した。歳入歳出予算それぞれに4,649万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を112億2,317万3,000円とした。

補正の主なものとしては、医療法人ほくと会との契約の解除に伴う地域医療施設(北部メディカルセンター)の維持管理費となっている。

結果は、下記のとおりとなっている。

平成26年第5回金武町議会臨時会附議案件処理結果

件 名	議決結果
平成26年度金武町一般会計補正予算(第3号)	可 決

住民自治の根幹としての議会を作動させる



去る10月8日に、町村議会議員・事務局職員研修会がパシフィックホテル沖縄において行われた。

講師に、江藤俊昭氏（山梨学院大学法学部教授）を招き、「住民自治の進展と議会改革の課題～住民自治の根幹としての議会を作動させる～」と題し講演が行われた。江藤氏は、最近の政務活動費の不支出やセクハラやじなど、地方議会議員の不祥事に触れ、議員の不祥事を議会改革のチャンスにして欲しいと話した。そして、議会には、自治体の法律である条例や予算、決算、主要な計画を決定する大きな権限が与えられており、それを自覚して議会改革の起点にすべきとした。

常任委員会の役割と運営

10月29日に、常任委員長・副委員長実務研修会が自治会館にて行われた。「常任委員会の役割と運営について」と題し、沖縄県町村議会議長会事務局長の石垣安秀が講師となり、委員会制度や委員会の権限、委員長としての心がけなどを論じた。



『伝わる』議会広報紙を目指して



11月6日・7日に、町村議会広報研修会が自治会館にて開催された。

講師に、熊本大学客員教授・熊本日新聞社NIE専門委員の越地真一郎氏を招き、「『伝わる』議会広報紙を目指して」と題し講義が行われた。住民が何を求めているか、状況の認識、うまい文章より伝わる文章と住民目線の広報紙づくりを意識することが重要と語った。その後、クリニックを希望した16町村の広報紙クリニックが行われた。

傍聴案内

議会を傍聴してみませんか。

12月定例会は、**12月16日(火)開会を予定**しております。

日程は変更になる場合があります。決まり次第、有線放送やホームページでお知らせいたします。詳細につきましては、議会事務局へお問い合わせください。



金武町議会事務局 有線放送 8-2292 NTT 098-968-2292 FAX 098-968-6274